

本日はオペレッタ「チャルダシュの女王」～浅草オペラの歌姫～に御来場くださいます。誠にありがとうございます。同作品は弊社で再演を重ねている人気作品です。この度東京都の「アートにエールを！東京プロジェクト(ステージ型)」の支援を受け、東京の人気スポット“浅草”を舞台に、時代設定も大正時代に置き換え、またオーケストラも11人にパワーアップして戻って参りました。

日本においてオペラ・オペレッタが一大ムーブメントになり、西洋音楽の大衆化に大きな役割を果たした時代の躍動感と和洋折衷の世界観をお楽しみ下さい。

また、今回の公演は令和二年度補正予算のJ-LODliveの補助金も受け、日本が誇る芸術文化を海外へ映像発信する活動として支援を受けております。

三味線や日本舞踊とオペレッタのコラボレーション、美しい和装でのパフォーマンスにもご注目ください。

このような未曾有の時期におきまして新しい挑戦や活動を続けられますことは、一重に皆様方の温かいご支援と、出演者・関係者のチームワークがあつてこそと、心から深く御礼申し上げます。芸術文化と舞台を愛する皆様の愛をパワーの元とさせて頂き、これからも止まることなく力を合わせて邁進して参ります。今後共ご支援どうぞ宜しくお願い申し上げます。



株式会社ムジカ・チェレステ  
代表取締役・紫瑠美(しるび)役  
**佐藤智恵**

## あらすじ

### 第一幕

大正時代の東京。浅草オペラの人気歌手、紫瑠美(しるび)は、劇場《金龍館》で、台湾巡業前のさよなら公演の最終日を迎えていた。同劇場の大常連、青年華族の龍造寺伯爵と退役軍人の通称“古川ロック”が中心となり、公演後に送別会が予定されている。

龍造寺伯爵は、紫瑠美に密かに恋しているが、彼女の思いは、江戸侯爵の御曹司たる江戸正親に向いている。その正親は、彼女の台湾行きをやめさせたいのだが、当人は気楽に構えている。

送別会の半ば、紫瑠美に台湾行きを断念させようと、正親は、8週間以内に彼女と結婚するという、正式な結婚誓約書を作らせる。一同、驚きと祝福で盛り上がる最中、翌日海軍省に出頭せよとの命令が、正親に伝えられる。彼は、帝国海軍中尉なのである。彼は、後ろ髪を引かれつつ、その場を去る。

一方、龍造寺伯爵は、正親と愛子嬢との婚約告知書を入手しており、それを紫瑠美に見せる。当然のことながら、彼女は裏切られたと思ひ込み、憤然として(台湾巡業のマネージャーでもある)伯爵と共に、ただちに台湾へ旅立つのだった。

### 第二幕

8週間後、東京の江戸侯爵邸。正親は、紫瑠美と連絡の取れぬまま、従妹である伯爵令嬢、両国愛子との婚約発表の日を迎えていた。

そこへ紫瑠美が龍造寺伯爵と共に現れ、ふたりは台湾で結婚したという触れ込みで、龍造寺伯爵夫妻として紹介される。ところが、予想外なことに、伯爵が、美しく成長した愛子に一目惚れしてしまい(少女時代は知っていたが)、正親と紫瑠美の間には再び恋の炎が燃え上がる。

愛子に夢中になった伯爵は、紫瑠美に“離婚”を宣言し、“離婚”後も“伯爵夫人”と称してよいと告げる。これを聞いた正親は、紫瑠美にあらためて求婚する。

しかし、彼女は、嘘をついてまで幸せを手にしようとは思わず、自分は“浅草オペラの花形歌姫”だと明かし、正親が作らせた結婚誓約書を破り捨て、大混乱となった侯爵邸を去って行く。

### 第三幕

江戸侯爵邸を後にした紫瑠美と龍造寺伯爵は、浅草 元祖人形焼木村家本店にやって来る。疲れきって、不満をぶつけ合うふたり。そこへ、偶然にも古川ロックが現れ、三人は再会を喜び、紫瑠美はロックに励まされる。

そうこうするうち、まず、ふたりを追って来た正親が現れ、続いて江戸侯爵が現れる。ロックと言葉を交わした江戸侯爵は、ある重大な事実気づく。その事実とは？

また、龍造寺伯爵は、ここぞとばかり、江戸侯爵に愛子との結婚承諾を迫り、一方で、紫瑠美と正親を仲直りさせようと一計を案じる。伯爵の計画はうまく行くのか？ふた組のカップルの運命は？

## 出演者 大正版役名/原作役名



紫瑠美/シルヴァ  
佐藤智恵



江戸正親/エドウィン  
渡辺正親



龍造寺雄太/ボニ  
本村雄太



両国愛子/シュタージ  
中野亜維里



古川ロック/フェリパーチ  
新井健士



江戸勝之新/侯爵  
大石将史



江戸靖子/侯爵夫人  
中本椋子



ミシュケン/ミシュカ  
正部家喬久



鯨太郎/キス  
細川慶郎



上方諭吉/ローンズルフ  
本間正裕



踊り子  
生駒侑子



踊り子  
依田真虹



踊り子  
田中麻衣子



踊り子  
宇田川路代



紫瑠美の幻影/日本舞踊  
若柳尚雄里



指揮者  
神尾昇



ピアノ  
内海清佳



ヴァイオリン  
山口嘉奈子



ヴァイオリン  
眞島李帆



ヴィオラ  
太田史子



チェロ  
中原鋼枝



コントラバス  
深町萌



フルート  
高木美里



オーボエ  
取附純佳



クラリネット  
育吉尚子



パーカッション  
宮崎正太



三味線  
川嶋志乃舞

